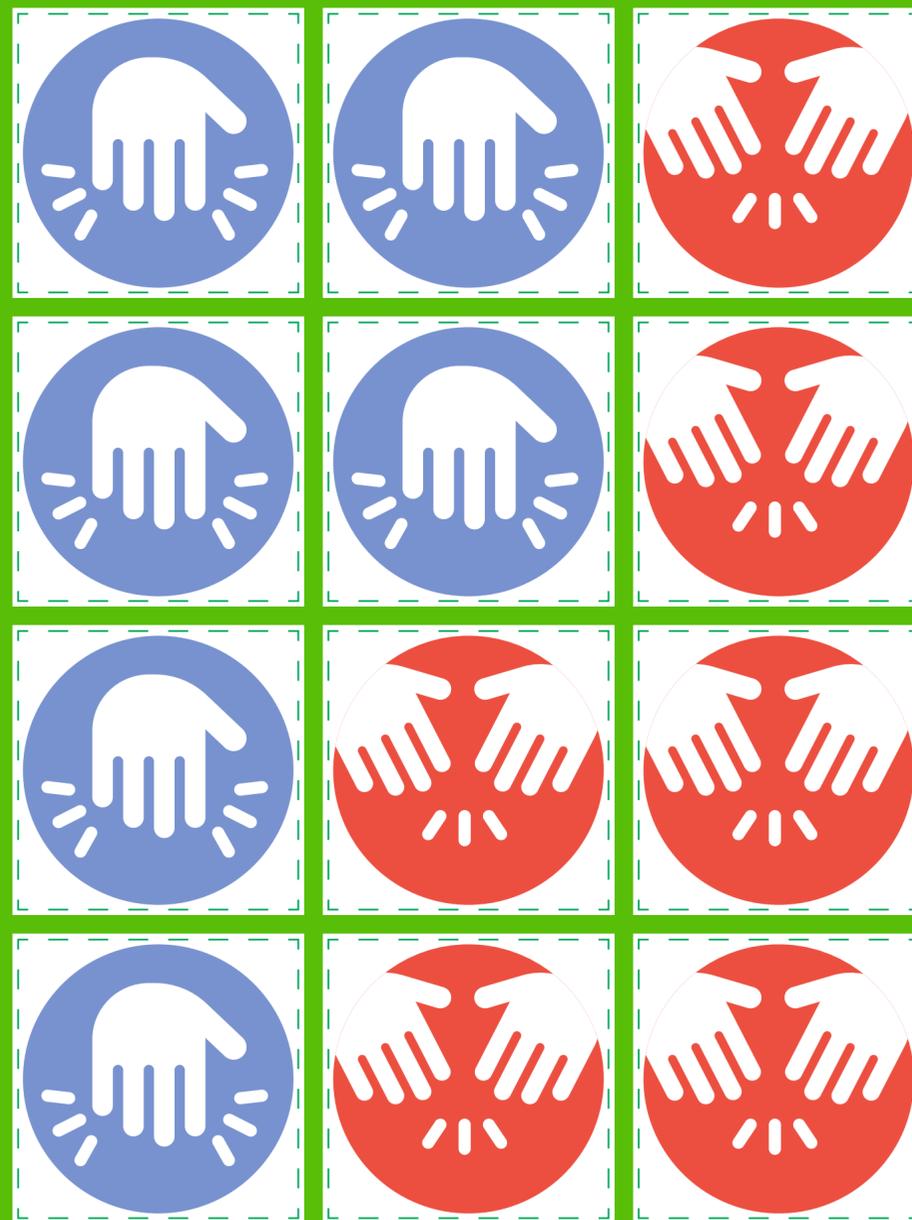


記譜記号を切り取ってください!



そして、こちらが演奏方法です

カホンにハンド・ステッカーを貼って、リズム・バーと記号を切り抜きましたか?

完璧です!では始めましょう。

ニノ・カホンの記譜法を使ったドラムの叩き方を、例を挙げてご紹介します。切り取った記号をリズムバーに置き、時間通りにカウントするだけです:**1-2-3-4**。各記号を正確に演奏し、このリズムユニットを完璧にマスターするまで繰り返します。

試してください!とても楽しいですよ。

正しいカウント法

ドラム合奏と最初のリズム練習を始める前に、適切なカウントないし数え方を簡単に見ておきましょう。

ドラム合奏では、大きな声でしっかりと数を数えることが重要であり、集中的に練習する必要があります。最初は、演奏とカウントの間のこのリズムの独立性を発達させるのは難しいかもしれませんが、しかし、ひとたびカウントの原則が内面化されれば、リズムックなパッセージと一緒に演奏することが容易になります。

1-2-3-4のビートを大きな声で数えて掛け声をするので、子どもたちが正しいリズムを刻む助けとなります。声を出してはっきりと数え、グループで演奏し始められるようにします。

あるいは、**1-2-3-4**という数字の代わりにの代わりに、リズムシーケンスのビートを大声で数え手も構いません。例えば、**ベース-スネア-ベース-ポーズ**というようにして、子どもたちがテンポを保ち、正しい記号を叩けるようにします。

最初は、記号ごとに4分音符を弾くことを学びます。グループで演奏するときは、他の人の演奏に耳を傾けることが大切です。また、メトロノームを使って、拍子を取りながら数を数える練習してもいいでしょう。



Roland Meinel Musikinstrumente GmbH&Co.KG

Musik-Meinel-Straße 1
91468 Gutenstetten
Germany

電話: +49 (0) 9161 788 0

Eメール: info@ninopercussion.com
ninopercussion.com

ライセンス:

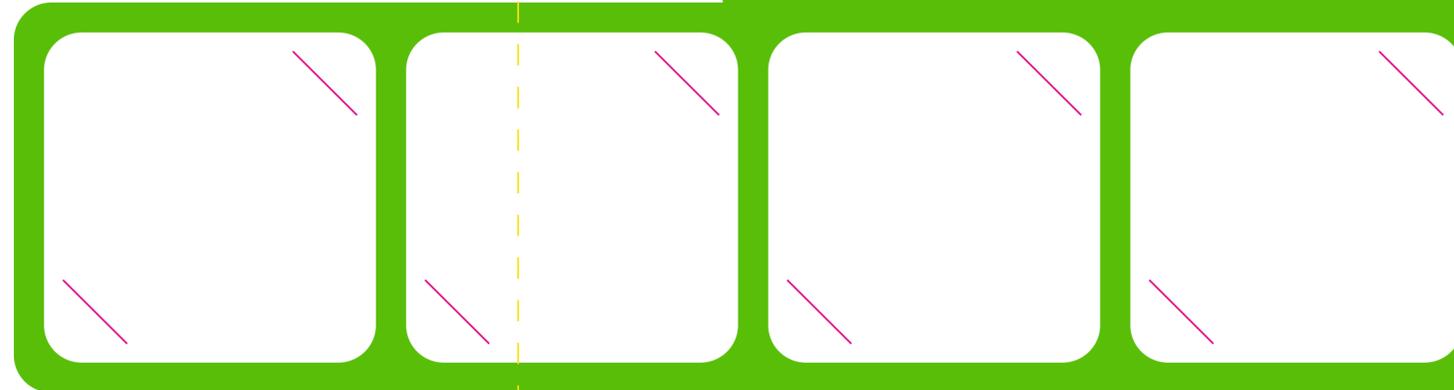
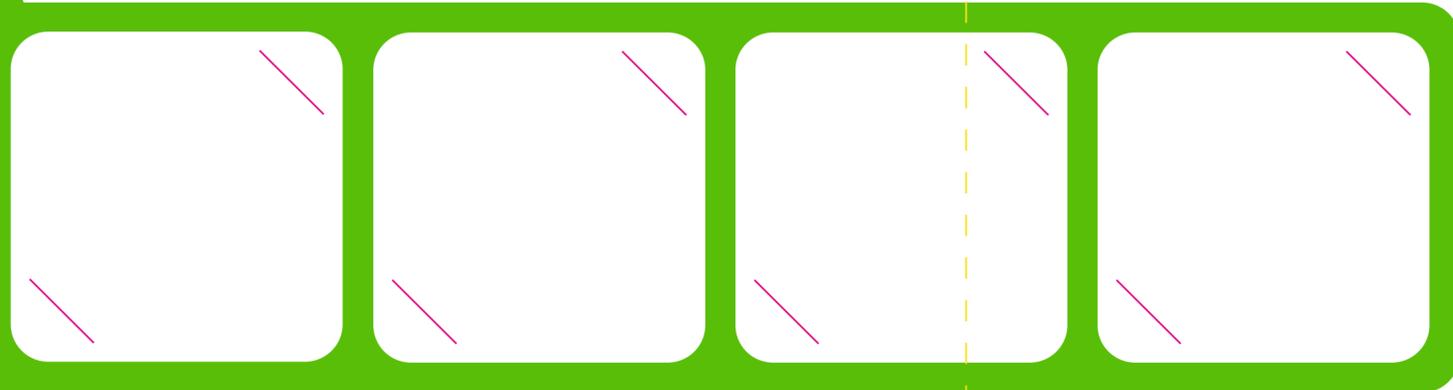
Patrick Strese - オーナー Baff

アクティビティブック

カホンを習う



ビートバー



ニノ・カホン

準備

ニノ・カホンで演奏を始める前に、以下の手順に従ってください。

- 1 ニノ・カホンに付属している粘着シールを譜面台に貼ってください。右の図では、各記号をカホンのどの位置に置くと、最適な音色が得られるかを示しています。
- 2 役立つリズムバーがすでに内側に印刷してあります。印をつけた線に沿ってリズムバーを切り取り、目の前の床に置いて、よく見えるようにしてください。

- 3 ドラム演奏を容易にするために、私たちは5つの音楽記号からなる独自の記譜法を開発しました。内側にこれらのマークもあります。マークを切り抜いて、すぐに演奏を始めましょう。
- 4 ステップ1～3が終わったら、最初のリズム練習です。

独自の記譜法

演奏前に、演奏用椅子にハンドステッカーを貼ってください。右の図は、各音を最適に鳴らすためにドラム上のどの位置に記号が配置されているかを示しています。演奏を容易にするために、私たちはさまざまな音を表す5つの基本記号からなる独自の記譜法を開発しました。

ドラム演奏をたっぷり楽しんでください!

ベース



青い手のマークはベースを表します。叩くと低音が出ます。

スネア



上端の赤い手のマークを叩くと、スネアと呼ばれる明るくシャープな音が出ます。

シャウト



このマークはシャウトを表します。ここで、リズムに合わせて「イェー!」と叫ぶのです。「ハイ」でも「ハイ」でも「オレ」でも構いません。

拍手



オレンジの叩いている手のマークは、手をたたくことを示します。

休止



この記号は休止を示します。唇に指を当てて、「シー」と言うと効果的です。



記譜記号を切り取ってください!

